

びふか
三歳台です

こんにちは。

2014年2月号

発行 / 北海道美深町議会 編集 / 議会広報特別委員会

〒098-2252 北海道中川郡美深町字西町18番地 TEL01656-2-1651

印刷 / 有美深印刷



新規「商工業担い手支援条例」可決 … 2P～3P
第4回定例会

町政の課題、ここが聞きたい … 4P～8P
5議員が一般質問に

意見書採択・人事案同意・臨時会 …… 9P

委員会レポート・私からのメッセージ … 10P～12P

第88号

表紙写真 川合かよさん

- 大正7年6月1日生
- 音威子府村出身
- 子供 男2人女6人全員健康
- 靴下カバー等の編物が趣味

第4回定例会



条例制定

商工業担い手支援条例審査を総務住民常任委員会に付託

今定例会において総務住民常任委員会に付託し3回の委員会を開催、商工会長(園部一正氏)に参考人として出席をいただき慎重審査し、全員賛成で原案可決すべきものと決した。

審査の経過と結果

- ①既存の経営者子弟に対する支援について。
- ②親族（2親等以内の者、配偶者）を除く規定に対しての要件について。
- ③門戸を広く持った条例とすべきか否かについて。
等が主な審議内容。

商工業の担い手対策として初めての条例であり、「商工業振興策、活性化の一つの起爆剤として、最初の一歩を踏み出すべき」との結論に至った。

この条例が今後、真に商工業振興の目的を達成するよう必要に応じた見直しを行うとともに、「将来における経営支援策を早急に検討する必要がある」と委員会の結論とし意見を付した。
本会議において、委員会報告後採決。 原案可決〔全員賛成〕

平成25年第4回定例会は、12月10日から13日の日程で開催され、条例制定1件、条例一部改正4件、条例整備1件、指定管理者の指定5件、計画変更1件、補正予算7件、同意3件、意見書3件が審議され、いずれも原案可決した。同

商工業担い手支援条例を制定 新規開業・異業種進出にも朗報

新条例の主な内容

事業区分	補助金等名	支 援 内 容	補 助 基 準
事業承継 新規開業	経営安定補助金	事業承継者(親族を除く)、新規開業者に経営開始後の経営安定のための事業運営経費の支援を行う	単身者～月額10万円以内 単身者以外～月額15万円以内 経営開始から24ヶ月以内
	経営自立補助金	事業承継者(親族を除く)、新規開業者に土地・建物(住宅を除く)・設備に係わる経費を補助する	月額賃貸料～1/2以内、10万円限度で 24ヶ月以内 固定資産税～1/2以内、10万円限度で 2年以内 取得費～20%以内で200万円限度
	技術実習助成金	事業承継者(親族を除く、従業員、生活を一にする者)、新規開業者が経営に必要な技術を習得する経費を助成する	単身者～月額10万円以内 単身者以外～月額15万円以内 実習開始から24ヶ月以内
	技術指導助成金	事業承継者(親族を除く、従業員、生活を一にする者)、新規開業者に経営に必要な技術を指導する事業者に対し技術指導費を助成する	日額3,000円以内 指導開始から300日以内
	事業承継奨励金	親族で事業承継を行う新経営者に対し補助する	定額50万円以内
異業種進出	設備投資補助金	小規模事業者が異業種に進出の際、必要な設備の導入に対し補助する	設備投資額(50万円以上)の1/2以内、500万円限度
人材づくり	人材育成奨励金	小規模事業者が経営に必要な人材の育成と確保のため、新たに雇用する新規就業者の経費を補助する	給料の1/2以内、8万円限度
	研修調査助成金	事業経営に必要な技術習得、向上や販路拡大、異業種進出のための研修費、調査費を助成する	研修・調査費の2/3以内、1事業者100万円限度

第4回定例会

びふか温泉、 バイオマスボイラーで経費削減

保健福祉G主幹 電
気料金が主である。また、本施設は本年4月スタートしたもので、当初から不足する事態があれば追加することで進めってきた。

質問 ほつとプラザ
☆スマイル指定管理
料の155万6千円
追加の中身は。
また、指定管理期
間中の管理料増額は、
ありえるのか。

〔主な質疑〕

補正予算

補正の主なもの

会計別	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	42億5821万円	4億9823万円	47億5644万円

(主な補正内容)

OA機器備品購入費	750万円
ほっとプラザ☆スマイル指定管理料	155万円(追加)
快適住まいづくり商工業振興事業補助金	150万円
びふか温泉木質バイオマスボイラーエネルギー工事請負費	2億800万円
中体連参加負担金	90万円
厚生病院運営支援補助金	△996万円
自給飼料確保緊急対策事業補助金	△411万円
民間賃貸住宅建設事業補助金	△1800万円
美深消防署庁舎改修工事設計委託料	△235万円

企画G 主幹 運用開始は、平成26年12月中を考えている。

質問 農業費の畑作
振興事業補助金と自
給飼料確保緊急対策
事業補助金の減額理
由は。

自給飼料について、8月以降の長雨で施工できなかつたり、外注する部分を自力で施工したり、今年は厳しいので来年に延ばすなど、事業実施が当初見込みより少なく減額するに至つた。

農業G主幹 畑作振興
事業について、農家も輪作体系の重要性は理解しているものとの、実施するにあたっては減収になることもあります。これを乗り越える農家が少なかつた。



管理料増額で快適な空間へ

〔質問者 石崎・諸岡・南・藤守議員〕

一般質問



岩崎泰好議員

- ① 地域の足、公共交通体系の現状と課題解決に向けた取り組みについて
- ② 新たな地域政策策定の視点に『住民総幸福量』という基準を導入しては

町長 仁宇布線
は、自家玄関から目的の地まで送迎するデマンド型としてバス運行、市街地は、予約によるフレンドバസとして運行開始。協議会は、14回開催で、

質問 公共交通体系の現状と課題について①どのような改善があったのか②中心的役割の地域公共交通協議会開催状況と内容③スクールバスの活用状況④仁宇布線の日曜運行とJR運行ダイヤとの連携⑤利用促進策の効果が図られているか。⑥財政上の負担軽減が図られたこと。

題についての見解は。積み残した課題については。仁宇布線では、日曜運行等は、行わない方針で進んできた。仁宇布線では、高齢者に配慮した改善も図っている。



有効活用が望まれる恩根内地区スクールバス

町長 現在進めている総合計画は、福祉の充実、住環境、地域の安全・安心を推進してお

質問 新たな地域政策の策定に『住民総幸福量』、東京都荒川区や島根県阿波町の取り組みのような、住民の幸福度を基準とした総合計画策定に反映させる手法を取り入れては。

財政負担の軽減は、仁宇布線で差し引き100万円ほどの軽減。課題については、特に交通弱者の足の

問

交通弱者に配慮した取り組みを

問

積み残しの課題解決は

問

住民幸福度を
総合計画に

答 6次総計には、
まだ時間が

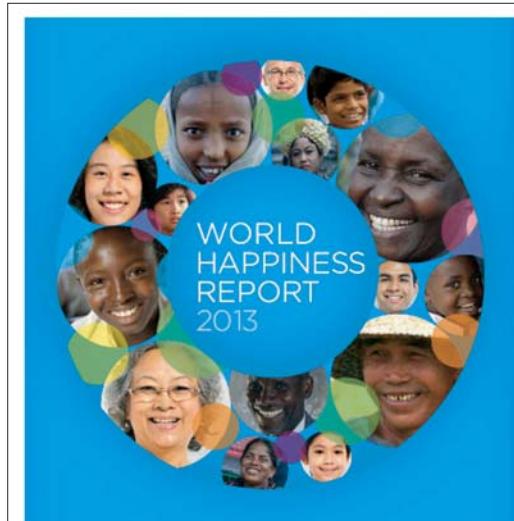
確保は大変重要であり、利便性の高い交通体系の整備に今後も努力。

2011年7月に国連で歴史的な決議が通過し、国連加盟国に幸福度の調査を行い、結果を公共政策に活かすことを呼びかけ。

世界幸福度報告書2013を発表。
2010-2012の間の国別幸福度ランキング結果の上位5ヶ国は、

1. デンマーク
2. ノルウェー
3. スイス
4. オランダ
5. スウェーデン

世界一の経済大国アメリカは17位。
2位の中国は93位、3位の日本は43位で、GDPが高い国が幸福度が高い結果になっていません。



3年目に入った段階で、第5次総合計画も進しており、目標す

で、第6次の準備はまだ議論の中にはないことを理解願いたい。



南 和 博 議員

一般質問

質問 新年度に向けた農業の担い手対策、及びパートナー対策、さらに経営安定対策に新しいものはあるのか。

町長 本年度、農業実習生宿舎の開設により新年度も実習生確保につながる。新規就農者も恩根家として一夫婦が就農予定。

農家子弟の後継者 は23人で、経営継承していくことが重要であると認識している。そのため、免許等資格取得に対する助成や就農祝い金（5万円）を、今提案しようとしている「商工業担い手支援条例」との整合性を図り、前向きに経営継承対策を充実したい。パートナー対策は

質問 体育振興策、美深高校の存続策、高等養護学校の支援策、山村留学の支援策について新年度の考え方。

教育長 総合型スポーツクラブを中心としてタレント発掘事業、エアリアルプロジェクトを開いていくが、指導者の確保と、クラブ運営費の自主財源確保が課題。

質問 スポーツ未来基金（350万円）は利用好調で新年も継続支援する。

校長 留学制度については、美深高校も継続支援する。



基金利用好調な少年団活動

- ① 新年度に向けた農業予算の考え方と今後の課題について
- ② 新年度に向けた教育予算について

問

課題に向けての新施策は

答 担い手支援を充実したい



メロン剪定に取組む実習生

問
一歩進めた支援は

答 支援と協力に意を配す

一步進めた具体策を図りたい。実習生から農業青年と結婚に至った実績もあり、農業青年も自らの問題として努力してほしい。

新規として、恩根内牧場草地整備、農

家の自給飼料確保対策を重点施策として予算措置する。

農業の労働力確保も緊急な課題であり、農協等農業団体から具体的な方針が示されれば支援措置を講じたい。

一步進めた具体策を図りたい。実習生から農業青年と結婚に至った実績もあり、農業青年も自らの問題として努力してほしい。

一步進めた具体策を重点施策として予算措置する。

農業の労働力確保も緊急な課題であり、農協等農業団体から具体的な方針が示されれば支援措置を講じたい。

山村留学は、現状の規模をベースとして進めるが、最大の課題は仁宇布小学校舎の改築がある。

山村留学は、現状の規模をベースとして進めるが、最大の課題は仁宇布小学校舎の改築がある。

町長 美深高校、養護学校とも卒業後の就職対策については、地域が生き抜く方法を考える時代の認識に立って学校と協議したい。

一般質問



小口英治議員

- ① 過疎、定住促進につながる施策は
- ② 安心して暮らせるまちづくりについて

質問
若者定住対策
としての結婚祝い金
・出産祝い金・就業奨励金等の考え方はないか。

町長
我町だけの問題ではなく国全体の問題だが、このようない中、新規就農等では若い担い手も育っている。また、今定例会で商工業の担い手、雇用の支援策を盛り込んだ新規条例を提案している。

質問
過疎化、少子高齢化、雇用の場の不足、基幹産業の後継者対策等課題が多い中、特に就労場所の確保が日々の課題と認識しているが、これらの対策をどう解決に結びつけるのか。

質問
若者定住対策としての結婚祝い金
・出産祝い金・就業奨励金等の考え方はないか。

質問
過疎地域自立促進特別措置法が27年まで延長になった中、交流人口の拡大、人材誘致も重要なが、美深の財産になりうる各分野での特化した人材の誘致が町おこしに直結するのではないか。

町長
先の条例で小規模事業者の経営に必要な人材を雇用するための支援も含んでいる。祝い金等の提案もあつたが、子育て・住環境の充実が一番必要。

問

美深町の過疎対策は

答
商工業における新条例で対応

れていきたい。

美深町国民健康保険に加入のみなさまへ

医療費節約に関する8つのお願い

- 重複受診はやめましょう
- 特定検診を受けよう
- 生活習慣を見直そう
- ジェネリック医薬品を活用しよう
- 薬の用量・用法を守りましょう
- 柔道整復師の適正受診
- 時間外受診はやめましょう
- 保険税は納期内に納めましょう

みんなが気をつけることで健康保険の負担を少しでも減らしましょう。



美深生活環境グループ「国保医療係」

問
医療費削減をどう図る

答
引き続き適正化に努力

質問
総合計画に高齢者向けの住宅建設があるが、町中の空き地利用も含めた発

想で、低所得者向け食事は一力所で摂るなど、だんらん出来高位置になっているが、予防医療の充実り入れた施設の必要性が、日々の課題と思うが考えは。

質問
総合計画に高齢者向けの住宅建設があるが、町中の空き地利用も含めた発

質問
療養諸費では、23年度、道内11位と高位置になっているが、予防医療の充実と更なるジェネリック医薬品の使用啓蒙と予防ワクチン助成の増額も必要ではないか。

町長
24年度からジエネリックの変更により医療費の削減の可能性がある保険者に対し周知をし、削減

町としての公費負担による予防接種は国の有効性・安全性の評価に基づき、定期接種は位置付けされていないので、現状では難しい。



諸岡 勇議員

一般質問

① 文化財の伝承と観光対策について

教育長 平成23年に
美深町の文化財史跡
を作成し各方面にPRして
いる、武四郎の踏査の地は上川総

6度の蝦夷地探検の際、恩根内アイヌの家に泊まり武四郎宿営の地として、昭和58年に美深町文化財に指定されている。

「松浦武四郎踏査之地」と「詩文」の銘板を添えた石碑の建立は、探検の偉業と尽くされた功績を後世に伝えるものだが、この地は狭く駐車場がない。

また、町内外のPRと活用方法が不充分と思うが所見を伺う。

質問 びふかアイランドのミニチュア、「テッシ」があるが武四郎の「天塩」の語源場所である。

貴重な史料で更に活用すべきと思うが所見を伺う。

また、紋穂内の伝承遊学館の遺跡展示について石碑を含めた地区特有の資料展

将来に向けた今後の課題として受けておきたい。

合振興局、道開発局のHPなどでも紹介され近年広く認知されている。宣伝活用の発信、不足の部分など考えながら対処したい。駐車スペースは、必要な時、整備したい。



びふかアイランドにある松浦武四郎の石碑

町長 松阪市の武四郎の会の皆様が昨年28名、山中市長の親書を持って来町され武四郎の偉業を大切に関係を深め、交流を継続したい。

チヨウザメ飼育は、恩根内プール跡で当面飼育したい。

示所にすべきだが考えは。教育長 テッシは天塩川の発祥の地から少し離れ、意味合い、表現に物足らない事は課題でアイヌの関り認識など受け止めたい。

伝承遊学館は、平成22・23年全体的な見直し再整備した。史跡展示も整然としているが歴史背景を考えたものとしたい。郷土研究会の皆様が、毎年貴重な資料づくりをされ、各分野のものも残され

ている。地域の歴史総体の展示は、「これらのトータル的な考え方でチャレンジしたものなど検討事項にしたい。

質問 松浦武四郎誕200年祭が5年先に各地である、交流などの考えは。

三ヶ月湖でのチヨウザメ飼育の考えは。

答 今後の課題としたい

問 武四郎を活用した観光振興を

一般質問



① 少子高齢化と人口減少に対するまちづくり

藤原芳幸議員



自治会とのまちづくり懇談会

少子高齢化が進む中での 自治会の運営は

答 行政の支援も整理する

質問 町の少子高齢化がどんどん進む状況では、各自治会も運営に苦慮している状況がある。まちづくりの基本は核となる人と組織であり、自治会の役割はとても大きなものがある。

今後のまちづくりにどう連携をしていくのか。

町長 この問題は、美深町だけでなく何処の町も共通の課題となっているが後ろ向きな議論ではなく、第五次総合計画の目標、ビジョン、プログラムに向かって着実に進めていく視点が大事だと思ってい

る。自治会の中には様

々な課題があり、具体的に今、何をすべきか、それぞれの自治会の中で整理する必要があり、現在の活動の維持、改善に向けアンケートや意見の取りまとめを進めている。

11月の懇談会ではたくさんの町民の意見が聞けるものと期

待していたが、多くの声が聞けず残念であった。
課題はいろいろあると思うが解決にはまず自分で出来ること、そして行政の支援が必要なことを整理していく必要がある。

答 次世代の担い手どう育てる

登用に努力している

質問 とても活発に活動を続いている生涯学習活動も、やはり高齢化の影響が出ていて今後の担い手不足が懸念される。

まちづくりの担い手づくりにも影響が出る。新たな活動への支援や若者の登用など対策が必要ではない

か。

町長 生涯学習の活動にも間違いない高齢化の影響は出で

きている。

政もそれなりの考えを持つことも必要だ。ただ、住民の意見、考へも大事にしていただきたい。

組織は人が人を呼び出していくものであり、一朝一夕に解決するものではない。しかし、何らかの仕掛けが重要で、行

くべき時代を反映して変化してきており、人が少なくなる中、時代に対応した人材づくりや新しい活動を大事にしていきたい。



新たな担い手が求められる生涯学習

第4回定例会

意見書案を採択

森林・林業・木材産業施策の積極的な展開に関する意見書

地球温暖化が深刻な環境問題となる中、森林・木材が果たす役割は重要であり、森林・林業を国家戦略と位置付けし、森林資源の循環利用の推進と森林の整備・保全、木材の安定供給を強く要望する。

平成26年度地方財政の確立を求める意見書

新年度の予算編成にあたって、地方交付税法の本旨に反する制裁処置の導入の検討が進められている。

政府は地域の財政事情を的確に見積もり、これに見合う地方交付税額を確保することを強く要望する。

利用者本位の持続可能な介護保険制度の確立を求める意見書

政府は介護予防給付を市町村が実施する地域支援事業に組み込むことや、利用者負担の引き上げを盛り込んだ介護法改正案の国会提出を目指すとしている。

高齢者の尊厳が守られ、利用者本位に基づく社会保障制度を確立していくよう強く要望する。

以上 3本の意見書を国へ提出。

3名の人事案に同意

監査委員 岡崎三郎氏



平成10年から
期16年務めら
れ5期目。
で29年12月31日
任期は、平成ま
で。

教育委員 清水満寿美氏



平成21年から
期4年務めら
れ1期目。
で29年12月26日
任期は、平成ま
で。

審査委員会委員
固定資産評価
園部一正氏



平成10年から
期15年務めら
れ5期目。
で28年12月23日
任期は、平成ま
で。

第6回臨時会

- 主な議案 繰越明許費について (平成25年10月31日開催)
- 内 容 以下の3事業を翌年度に繰越する。

農業産業費	恩根内放牧場草地整備事業	488万円
土木費	町有住宅補修事業	730万円
教育費	町営プール改修事業	1968万円

恩根内放牧場は、10月末の工期であったが、例年ない降雨のため圃場の管理上雪解け後の整備とした。住宅補修・プール改修は、工事用足場、板金塗装等の作業員の不足等で入札不調があり、冬期間の施工は難しいとの判断により繰越。

●主な質疑 質問 明年度の消費税改正に伴う資材の値上げなどの影響、工事事業の情勢把握が不十分だったのではないか。

教育G主幹 消費税の部分は、影響のない設計金額で実施する。

総務G主幹 町有住宅、町営プール共、4月発注も可能だが、資材、作業員の状況を見極めながら発注時期を検討する。

●質問者 南、諸岡、藤原、岩崎議員 原案可決〔全員賛成〕

第1回臨時会

- 主な議案 除雪対策費について (平成26年1月29日開催)
- 内 容 今冬の大雪対策に関する補正

民生費	助成サービス事業委託料	380万円
土木費	除雪対策費他	2140万円

●質問者 諸岡議員 原案可決〔全員賛成〕

《用語説明》 繰越明許費とは 予算には計上されているが、年度内に支出が終わらないと見込まれるものについて、予算（通常は補正予算）に定めることにより、翌年度に繰り越して支出すること。

■調査日
11月25日

調査事項

老人福祉対策について

■調査の目的

わが町における高齢化率の上昇により、介護認定者が増加している中で介護サービスの現状と課題を調査するもの。

- ①介護保険施設サービスについて

介護老人福祉施設サービスの拠点である美深特別養護老人ホームは50床満床、入所者の平均介護度は4・4。建設後27年経過して老朽化がみられることがから将来的にはユニット化を含めた施設改修計画を検討すべきである。

設サービスの拠点である美厚生病院には11床あり現在満床の利用がある。

- ②介護保険居宅サービスについて

訪問介護事業はこれまで美深町社会福祉協議会（ヘルパー事業）のみであったが、平成25年5月より「マイライフ居宅介護支援事業所（美深シルバー支援）」が新規開設され主に「シェアハウスえにしの里」のほか、町内在宅利用者へサービスが提供されていっている。これにより、今年度は前年比の約1・5倍の給付費が見込まれ潜在的な需要がある。今後も民間事業所の支援でニーズに応える体制づくりが必要である。

また近年、住所地特例（当該保険者が給付費負担）で転出される方が増える傾



旧憩の家に新設された「緑生苑」

- ③介護保険地域密着型サービスについて

認知症対応型共同生活介護については、「グループホームびふか」（2ユニット、18名）が運営し、満床で待機者が3名の「グループホームびふか」（2ユニット、18名）が運営し、満床で待機者が3名の状況、開設から9年が経過しており利用状況、経営状況ともが良好の報告を受けているが、施設の修繕等も含めた、何らかの適正な支援を検討する必要性がある。

小規模多機能型居宅介護については、「緑の大地」と「緑生苑」の開設により、中度以上の要介護者の町外施設利用抑制が図られていいくと考えられる。

「緑の大地」「緑生苑」の開設により、地域密着型サービスの拠点として期待していることはヘルパー、介護福祉士、看護師等の人材確保、育成が重要であり、わが町においては介護保険サービス提供に重要な民間事業者との連携強化、適正な支援策をより一層進めが必要がある。

しい課題を抱えながら88号の編集作業の真っ最中です。が、限られた紙面では、全容をお伝えできません。どうぞ、議会の本会議や委員会など傍聴に脚をお運びください。

そして、あなたご自身が『函岳のめ』となって、美深町の明日のためにご発言ください。議会は、町民意見をどのように町政に反映させていくことが出来るのか、合議体としての資質が問われています。

時として、「安穏なれとの願いの国見」ならぬ、町の状況を俯瞰（ふかん）したいものです。

委員会

橋りょうの適正な管理を

産業教育常任委員会

■調査のまとめ
橋りょう、道路の点検方法は、融雪後

■調査の目的
橋りょう、道路の点検状況及び過去3年間の改修計画の検証。

■調査事項
橋りょうの点検状況と道路施設管理状況

降雨時、強風時、降雪時に目視点検を行っている。
橋りょうは平成22年・31橋、平成23年・80橋を現地調査し調書・調査結果を公表している。委託料は平成22年度は349万円で50%が国の補助率。平成23年は720万円で70%が国の補助を受けて実施された。

道路管理は平成24年度に標識調査、25年度は道路面の劣化、クラック調査が実施された。経年劣化した舗装の補修は毎年必要に応じて工事は請負または直営で実施している。

平成25年9月の豪雨により町内数箇所で被災したうち大半は直営で補修したが、川西・六郷・報徳地区の被災箇所は、本年度は応急処置とし来年度に本復旧を実施する予定。

■調査日
11月6日



鮭観橋の橋りょう調査



報徳地区の被災調査



議員控室のゆり言

先般、ある方から議会広報について『傍聴に行けなくても、議会の様子が解る内容と紙面構成に感心しながら、隅から隅まで読ませていただいていますよ』との評。

また、ある懇談会では、掲載漏れがあるとの厳しい指摘や広聴の体制づくりの進み具合についてなどの質問をいただいた。

多くの町民に読まれているという実感に感謝しつつ、議会の様子をできるだけ詳細に、かつ、解りやすく掲載することの難

連日降り続く雪、雪、ゆき。そんな合間の凍れが厳しい朝、ダイヤモンドダストの遙か向こうに函岳頂上のレーダーサイトを望むことが出来た。ふと、数十年前にスノーモビルで登った時のことが蘇る。

頂上からの360度見渡す映像と感動は今も鮮明だ。



私たちのメッセージ

資格取得をめざして日々努力

佐々木 駿 (新生自治会)

この美深町で生まれ育ち、気が付けば本当にあつという間に20年の月日が経りました。

この20年間の中で、お世話になった両親や兄弟、小学校、中学校、高校の先生方や友人の皆様に感謝

の気持ちを忘れずに、これから大人の一員としての責任感を持ち、頑張っていきました。

私は、まだ学生という立場ですので社会人としてはまだまだですが、専門的な知識を学び、資格取

得をめざして日々努力していきたいと思います。

そして、将来はこれまでお世話になつた方々に恩返しが出来ればと思っています。

この度、私達のために成人式を開催します。

協働のまちづくりを進める会との懇談会

安心のまちづくりに多くのご意見をいただきました。

夢であつた保育士に

佐藤千紗 (第1自治会)

月日が流れるのは早いもので、私も20歳となり成人を迎えることとなりました。

これまで振り返つてみると、家族はじめたくさんの方々に支えてもらい、本当に感謝の気持ちいっぱいです。また、この20年間

を美深町で過ごせたことを、とても嬉しく思います。

20歳を迎えたことで大人としてのスター

トラインに立てたよう

また、挑戦することを忘れず、日々成長し続けていくよう

に頑張ります。

私は今年の3月に短大を卒業し、4月からは保育士として社会人の仲間入りをします。

働くことには期待も不安もありますが、子どもたちの良いお手本となり、子どもたちの目線に立つて物事を考えられる保育士になれるよう努めています。

COMカレッジ110大学・老人クラブ連合会との懇談会

平成26年
1月29日



平成25年
11月26日

